

【NY 2016/02/26(金)】 NYMEXプラチナ先物価格(ドル/オンス)

限月	始値	高値	安値	終値	帳入値	前日比	出来高	取組高
2016/03	-	-	-	-	914.50	-12.00	4	7
2016/04	926.80	931.10	911.00	915.90	915.10	-11.90	13,954	57,936
2016/05	-	-	-	-	915.30	-11.80	0	0
2016/07	927.30	930.50	911.30	915.50	915.50	-11.80	468	6,670
2016/10	930.60	931.20	916.60	917.50	916.90	-11.70	27	367
全体	Last Updated: Friday, 26 Feb 2016 06:00 PM						14,453	64,987

【NYプラチナ概況と分析】 金相場連動で続落、南アランド安に要注意

価格連動性の強い金相場が大幅続落となったことを受けて、白金相場も続落した。

アジア・欧州タイムは920ドル台前半を中心にやや上値の重い展開になったが、20カ国・地域 (G20) 財務相・中央銀行総裁会議待ちのムードも強く、大きな値動きには発展しなかった。ニューヨークタイム入り後はショートカバー (買い戻し) が膨らみ、930ドル台を回復するような場面も観測されている。しかし、昨年10～12月期の米国内総生産 (GDP) 改定値の発表後はドル相場高・金相場安が進行し、それと連動する形で白金相場は910ドル台中盤まで値下りしている。

米GDPは速報の前期比0.7%増から1.0%増まで上方修正されており、工業用金属である白金にとっては本来であればポジティブな統計とも言える。しかし、2月以降の白金相場は白金のファンダメンタルズよりも金価格との連動性を重視する傾向が強く、ポジティブな統計は逆にネガティブと評価されるいびつな相場環境が続いている。このため、引き続き金相場動向が注目されることになるが、なお国際金融市場の不安定化が続く中、短期スパンでは金相場につれ高するリスクを想定しておくべきと考えている。金相場がピークアウトするか、金相場との連動性そのものを断ち切るまでは、瞬間的な上昇リスクが残されることになる。

もっとも、ドル高傾向が続く中、南アフリカ通貨ランドがダウントレンドを形成し始めていることはネガティブである。このままランドが安値更新の動きをみ

せれば、徐々に金相場と白金相場との連動性は断ち切られ、白金相場はその独自要因から値下がり対応を迫られることになる。足元では、白金相場の地合の悪さは、「白金相場の値下り」ではなく「金相場に対するディスカウント幅の拡大」という形で表れている。金・白金スプレッドは過去最大を更新し続けており、なお金買い・白金売りの裁定がワークする相場環境が続いている。

アングロ・アメリカン・プラチナ (アムプラッツ) は、白金相場の低迷を受けて少なくとも2,000人の人員削減を計画していることを明らかにした。TwickenhamとUnion鉱区のリストラに伴う措置になる。こうした人員削減の動きは労使トラブルが発生するリスクを高めるため、潜在的な供給リスクとして今後の展開には注意が必要。

短期スパンでは金価格との連動性が強い以上、なお上振れリスクが残る。株安が3月に持ち越されると、改めて950ドルの節目を突破する可能性も想定しておく必要がある。ただ、白金需給やランド相場水準などからは過熱感強い高値であり、引き続き白金上場投資信託 (ETF) 市場では資金流出の動きが確認されている。金価格連動で必要以上の高値が形成された状態にあり、中期スパンであれば戻り売り妙味の大きい価格水準と評価している。

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行者

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)
【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役 小菅 努 (こすげ・つとむ)
1976年千葉県生まれ。筑波大学卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。東京商品取引所認定・上級知識修得者（貴金属、石油、ゴム、農産物）。

E-mail: kosuge@marketedge.co.jp

Twitter @kosuge_tsutomu